

学校名	佐賀市立南川副小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標「自分を磨く」は、課題解決に向けて主体的に考え、行動する力を育むことをねらっている。職員間で共通理解しながら取り組んだが、継続と徹底が必要である。</li> <li>・県調査の結果は、どの教科でも県の水準を下回り、系統立てて活用力や表現力を高めていくことが課題である。</li> <li>・職員の特別支援教育に対する取組の評価が低かったため、研修会等を実施し、専門性の向上を図る。</li> </ul>
------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	自分を磨く子どもの育成 ～ 自ら学び 心豊かに たくましく生きる南っ子 ～
----------	------------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を磨く (①主体的・対話的で深い学びへ ②指導力の向上 ③時代が求める課題への対応)</li> <li>・豊かで多様な感性を磨く (①豊かな心と多面的考え方の育成 ②特別支援教育の充実 ③生徒指導・児童理解)</li> <li>・健やかでたくましい心身を磨く (①健やかな体とたくましい心づくり ②安全・防災教育 ③特別活動)</li> </ul>
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・マイプランを共有し、取組を促進する。 ・「南川副小型授業」を共通理解し、全職員で実践する。
	○活用力の向上	○1年～3年は、CRTの結果を全国標準値に、4年～6年は、佐賀県調査の結果を県の水準に引き上げる。	・スキルタイムの徹底を図る。 ・「家庭学習がんばり週間」で、保護者へ啓発し、家庭学習及び読書習慣(必読書)の定着を図る。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳に関するアンケート(思いやり、挑戦心、社会性に関すること等)達成率85%以上	・道徳科の授業づくりやQ-Uの校内研修を実施する。 ・毎週木曜日を道徳教育の日として、人権教育、道徳の充実を図る。 ・ふれあい道徳での授業実践を家庭に発信し、連携を図る。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ問題には、必ず、管理職を交えた組織で対応し、今年度発生したいじめ問題は、未解決件数を0(ゼロ)にする。	・毎月の「いじめ・いのちを考える日」に「ここにアンケート」を実施し、6月、11月に教育相談週間を設ける。 ・いじめ問題への対応に関する研修会を開き、全職員の意識を高める。
	◎志を高める教育の実践	◎学校評価の時期に児童アンケートを実施し、自分の夢に向かって努力を惜しまずに取り組もうとする児童を90%以上にする。	・キャリア教育に関する研修会を設け、全職員共通理解のもとで実践する。 ・道徳科や学級活動、総合的な学習の時間において、キャリアパスポートを活用する。
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●「早寝・早起き・朝ごはん」「8時登校」ができる児童を、90%以上にする。	・「生活ふり回り週間」において、重点的取組の中に「早寝・早起き・朝ごはん」と「8時登校」を設定し、家庭と連携して取り組む。
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童の交通事故及び救急搬送を要する生活事故等を0(ゼロ)にする。 ●避難訓練(水難、不審者対応、地震・火災)の振り返りで、「お・か・し・も」などの約束が達成できた児童を95%以上にする。	・定期的に避難訓練を行うことで、児童の安全に対する意識を高める。 ・防災に関する研修会を実施し、職員の意識を高める。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・会議や研修の目的を明確にし、内容の精選、時間設定等を行い、放課後の学級事務や「夕活」等に充てる時間を確保する。 ・定時退勤日、学期末特別校時を設ける。
	○教職員の負担感の軽減	○学校評価及びストレスチェックなどのアンケートで、「協力し合える体制で業務を推進できた」について肯定的な意見を80%以上にする。	・3部会(生活、心づくり、体づくり)の中で協力体制を確立させる。 ・生活指導、教育相談に係る諸問題の解決に、チームで取り組み、負担感の軽減を図る。

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○特別支援教育	○特別支援教育の更なる推進	○学校評価(保護者アンケート)で、特別支援教育の取組に対する保護者の理解度を85%以上にする。 ○外部講師を招聘し、支援を要する児童への理解、指導及び支援の在り方並びに環境づくり等について研修会を1回以上行う。	・入学式や学級懇談、学校便り等で啓発を図る。 ・「校内支援会議」で、全職員の共通理解を図り、指導・支援を行う。 ・保護者や関係機関と連携しながら就学支援へとつなげていく。 ・学年懇談会で支援学級担任が、保護者への情報提供や情報交換を行う。
○教職員の資質向上	○教職員の資質向上	○服務規律違反を0(ゼロ)にする。 ○学校評価(最終評価)の時期に、授業力向上に関するアンケートを実施し、達成率を90%以上にする。	・服務規律、教職員としてのマナー等について、講師を招聘し、研修会を行う。 ・校内研究の充実を図る。